緑山バイオマス材生産モデル事業の概要

緑山バイオマス材生産モデル事業(事業イメージ)

市有林において、早生樹を活用した低コスト、15年サイクルによる循環的なバイオマス生産に着手(R1~)

早生樹が15~20年で成長する 前提で、市有林 (緑山:270ha) を段階的に早生樹へ移行



15年間サイクルで伐採、再造林

を目標とする実証

目標: 270ha: 15年=18ha/年



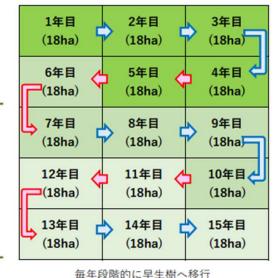
適官、柔軟な最適手法の検討

例・植林密度を変化

- ・一部を用材エリア施業
- ・他樹種の植林、混合育成
- ・施肥の実施
- 私有林等、他地域への展開
- 森林機能の最大発揮の施業・ 保育手法検討 ほか



市有林 (緑山:270ha)



出典:第1回周南市木質バイオマス材利活用推進協議会資料より